

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市中部障害者地域生活支援センター「らくなん」
取組名称	地域小学校での障がい者の理解の総合学習
取組の目的や背景・内容など	
小学4年生（3クラス105名）を対象にした総合学習において、当事者による障がい者の生活（小学生の頃の話や現在の日常の困りごとなど）の話をを行う。	
取組を行って良かった点など	
小学生が、日頃から抱えている障がいのことについて、素朴な質問もいくつかあった。講演の後、車イス体験などの企画もあり、障がいの理解に繋がっていくと思う。	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」
取組名称	「あそびの広場」
取組の目的や背景・内容など	
<ul style="list-style-type: none"> ・山科区役所子どもはぐくみ室・山科区社会福祉協議会・らくとう・だんごやましなクラブの4つの機関が協力して「障がいのある子どもたちの余暇支援」、「保護者同士の交流」を目的に「あそびの広場」を年4回開催。 ・今年の夏は、東総合支援学校でカレー作りや地域の学校で流しそうめんの企画を行う。 ・冬は、お餅つきを行う予定。 	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> ・学区社協の協力を得られていること、参加人数についてボランティアの参加人数が増加していることから、障がい理解の啓発を含めた地域交流の場としても役割を担うことが出来ていること。 	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」
取組名称	「スマイルミュージックフェスティバル」
取組の目的や背景・内容など	
<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人「音の風」、東山区社会福祉協議会・東山青少年活動センター・らくとうの4つの機関が協力して、「スマイルミュージックフェスティバル」を開催。 ・例年3月に東山区役所で一日障がいのある方の「コンサート」を開催。また、当日会場に展示する「笑顔のポスター展」を地域の小学生から募集。その前に地域小学生を対象に「障がい」に関する授業を実施している。 	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルミュージックフェスティバルを通し「障がい」について理解を深めるきっかけ作りとなっており、地域住民にも認識されつつある。 	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」
取組名称	山科知的ハンディのある人たちを支えるボランティア入門講座
取組の目的や背景・内容など	
<p>・山科区社会福祉協議会を主催とし、山科区にある主に知的障がい者が通う施設、ボランティア団体、橘大学が協力して、2回の講座と2日の実習（施設ボランティア体験）を実施。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>・講義・実習を通して、地域住民に対し障がいのある方について知ってもらう機会となる。受講された地域の人や地域の大学の学生がボランティアとして、その後の継続した活動にもつながっている。中にはこの取組を通して、福祉事業所に就職された例もある。</p>	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」
取組名称	山科こころのふれあい夏まつり
取組の目的や背景・内容など	
<p>・精神に障害があり社会的に支援を必要とする人や、その家族が地域で安心して暮らすことができるよう、本人・家族、保健・医療・福祉機関、人権の向上に努める機関・団体等が連携を深め、山科区民に精神障害者に対する正しい知識の普及や啓発をはかるとともに、地域住民との交流、精神障害者の自立や社会参加の支援について考え活動する。</p> <p>・毎年、山科アスニーを会場にして、地域の方への理解啓発を目的に、夏まつりを実施。コンサートや、自主製品販売などを行う。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>・例年、参加される方も増えており、少しずつではあるが、地域住民への理解へつながっている。</p>	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」
取組名称	精神障がい者・発達障がい者への理解啓発のための紙芝居実施
取組の目的や背景・内容など	
<ul style="list-style-type: none"> ①特養等施設スタッフ向け、②中小企業家同友会にて企業向け、③山科区民まつりにて地域住民向けの紙芝居を3回実施。 	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居という「わかりやすい」媒体を使い、これまではなかなか普及啓発をできなかった方へ実施することができた。 	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」
取組名称	ほんわか cafe
取組の目的や背景・内容など	
<ul style="list-style-type: none"> 発達に遅れのある子どもや障がいのある子どもの保護者の方や子ども発達の遅れが気になる方が集い、話し合う場をつくる。 その中で、様々な研修会も行う。 1) 7月には講師（徳永桂子先生）をお招きして、障がいのある方の「性」についての研修会をおこなう。 2) 12月は「兄弟支援」をテーマに研修会を行う予定。 	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> これまでなかなか相談につながらなかった保護者の方が集まってきてくれた。また、会場に地域の幼稚園を借りたり、様々な研修会を実施する中で、地域の方とのつながりも少しずつできてきた。 	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」
取組名称	東山区こころのふれあいネットワーク
取組の目的や背景・内容など	
<ul style="list-style-type: none"> • こころのふれあい作品展 …精神障がいのある方の作品展を通して、地域の方の交流の場とすることが目的。 • セタ会、クリスマス会、卓球交流会 …精神に障がいのある方と地域の方の交流の場としてのイベント開催。 • こころの病の人を支える入門講座 …今年度は地域住民に向けた「認知症講座」を開催。 	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> • 東山区の社協や民生児童委員、地域の方とつながる機会となっている。 	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」
取組名称	京都地域福祉創生事業（わかプロジェクト）
取組の目的や背景・内容など	
<ul style="list-style-type: none"> • 地域における制度の狭間の課題に社会福祉法人が連携して取り組むことを目指す。 • 令和元年12月、事業報告会と意見交換会を実施する予定。 	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> • 他府県の先進的な取組を知ることができ、自分の圏域や法人で何が必要か深く考える機会を得た。 	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」
取組名称	震災の映画上映会
取組の目的や背景・内容など	
・ 地域の方や福祉関係者向けに、東日本大震災をテーマにした映画「星に語りて」を2020年2月頃に上映予定。	
取組を行って良かった点など	

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市洛南身体障害者福祉会館
取組名称	地域の方の居場所づくり
取組の目的や背景・内容など	
<p>南区社会福祉協議会の「地域の方の居場所づくり活動」に賛同し、南区地域介護予防センター等と連携し、講習を開催しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭塾 ・マット運動&室内スポーツ ・バランスヨーガ教室 ・健康麻雀 	
取組を行って良かった点など	
<p>教室に参加された方々に大変楽しんでいただき、毎回の開催を心待ちにして頂いています。また、地域の方々の交流・出会いの場となっています。今後も、地域と連携を図り活動をしていければと思います。</p>	

【参考写真】



バランスヨガ教室の様子



室内スポーツ（棒サッカー）の様子

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市洛南身体障害者福祉会館
取組名称	地域ふれあい夏まつり
取組の目的や背景・内容など	
<p>地域の児童・高齢・障がいの福祉施設が連携・協働し、地域住民に対して福祉施設の周知・啓発を行うことで理解促進を図るとともに、地域の各種団体や関係機関等の協力を得ながら、地域住民と福祉関係者が交流できる場を提供することを目的に開催する。</p> <p>児童館・老人福祉センターなどの活動発表や、ゲストを招いてのステージ</p> <p>地域の福祉施設と商店が協力し合い、模擬店の運営。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>19回目の「地域ふれあい夏まつり」を実施し、地域住民のふれあい、施設と住民とのふれあい、施設同士のふれあいなど、多くのふれあいの場として定着しています。</p>	

【参考写真】



模擬店の様子



ボランティアサークル「らくよう」の和太鼓演奏

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市洛南障害者授産所
取組名称	ワンコインパソコン講座の開催
取組の目的や背景・内容など	
<p>普段、年賀状印刷等でしか地域の方との接点がなく、地域の方にとっても授産施設が身近でないことから、低額でパソコン講座を開催することで、家庭で眠っているPCの活用を促すとともに、地域の方と利用者が交流できる場として活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回、計8日間開催する ・一回500円で2時間の講習を行う。 ・内容は、Word・Excel、写真加工など ・家庭で困っているPCのトラブルについてもその場で質問に回答する。 	
取組を行って良かった点など	
<p>今年度は、12月時点で3回開催し、延べ20名の方に参加して頂いています。地域の方にとって、家庭で眠っているPCを操作するきっかけとなったり、受講者同士で談笑しながら講習を受けたりする中で、新たな交流が人と人を結びつけるきっかけとなっています。アンケートでも受講者からは好評をいただいております。定着した企画となっています。また、利用者もテキストの作成や講師補助として関わり、直接操作の説明を行うなど、普段地域の方と接する機会がほとんどない中、交流する貴重な機会となっている。</p>	

【参考写真】



受講風景

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	洛南障害者デイサービスセンター「あすなろ」 (生活介護事業)
取組名称	ボランティアの受け入れ
取組の目的や背景・内容など	
<p>仕事を引退された後、地域の担い手としていきいきと生活して頂ける居場所の一つとして、また福祉就労を目指す学生がボランティアを通じ、当事業所でやりがいを見つけて頂ける場所として、一日を共に過ごして頂く事を目的としています。</p> <p>ボランティアを受け入れ交流する事で、当事業所の利用者にとっても刺激となり、一緒に活動をする事で職員と共に新しい発見を見出す事を目的としています。</p> <p>【30年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毎日来て頂いているボランティア 1名 • 週1日来て頂いているボランティア 2名 • 主に施設内外の行事がある時に来て頂いているボランティア 1名 <p>※4名のボランティアの方に年間を通し、延べ300名近く来て頂きました。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>ボランティアさんと話すのを楽しみにされている利用者もおられます。また、ボランティアさんの声として、「居心地の良い場所でボランティアが出来る。」「居場所が出来た。」「利用者さんに勇気付けられる事、教えられる事も多くある。」との声を頂いています。</p> <p>施設内だけの繋がりではなくボランティアさんを通じて多くの人との繋がりを大事にしていければと思います。</p>	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	洛南障害者デイサービスセンター「あすなろ」 (生活介護事業)
取組名称	「あすなろ」クリスマス会
取組の目的や背景・内容など	
<p>「あすなろ」が現在の場所に移転して約4年になりますが、まだまだ地域に広く知られているとは言えない状況にあります。少しずつ地域に根付く施設として、また地域のイベントとして定着できるような「あすなろ」クリスマス会に発展する事を目的としています。</p> <p>【内容・今後のビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年12月に開催。令和元年12月の開催で3回目となります。 ・午前中は、「あすなろ」利用者を対象とし、ビンゴゲームなど実施。 ・午後から、シンガーソングライター前田和亮さんをお招きし、演奏会を開催。事前に洛南身体障害者福祉会館のロビーにチラシを貼らせて頂き、参加者を募ります。また、施設前にチラシを貼り出し、地域住民の方にも知って頂き参加を呼びかけます。近隣へのチラシ配布も検討していますが、会場の収容人数の制限もありチラシ配布の範囲については、今後の課題となっています。 	
取組を行って良かった点など	
<p>日常とは違う雰囲気の中で行事を実施する事ができました。普段見る事のできない「あすなろ」利用者の表情がみられました。また、チラシを見て来場して下さいました方は、事業所に貼られている「あすなろ」の活動写真を見られたり、利用者とのコミュニケーションを図られている姿がありました。普段接点のない人達との繋がりの場として、「あすなろ」クリスマス会を進化しながら続けていきたいと思えます。</p>	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市伏見障害者デイサービスセンター
取組名称	おたのしみ会
取組の目的や背景・内容など	
<p>デイサービスで取り組んでいる活動を通じて、地域の方とふれあうことが出来ればとの思いから、地域の方にも参加して頂けるイベントを考案しています。プロのミュージシャンによるミニライブ、職員指導で行う健康リハビリ講座やグループ体操、ご利用者がコーヒーなどを提供するカフェコーナー、作品展示などを通じて様々な方とふれあうことができ、地域との繋がりが強くなりました。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>カフェコーナーや作品展示では、普段のデイサービスでの活動の成果を地域の皆様にも知って頂く良い機会となり、来場された方から好評を頂き、嬉しく感じました。また、健康リハビリ講座では、参加された地域の方から身体の痛みや、予防方法などについて相談され、専門的な観点から、アドバイスすることができました。</p>	

【参考写真】

○ 第1部

・ミニライブの様子



○ 第2部

・どれみふぁ荘 カフェコーナーの様子



・健康リハビリ講座



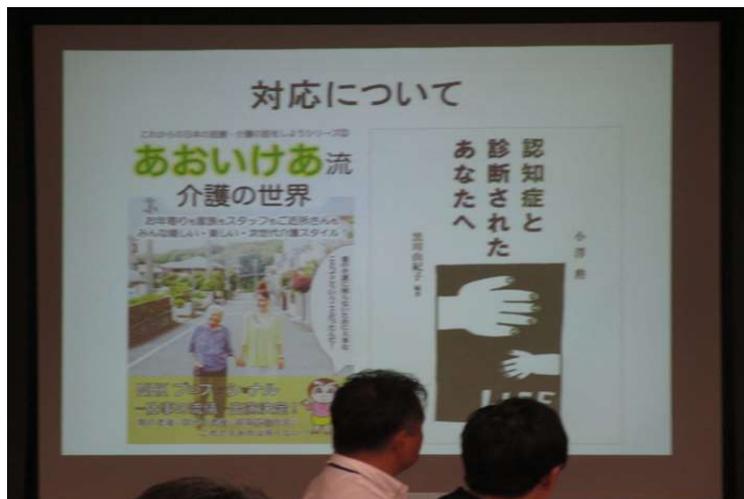
・利用者作品展



【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市伏見障害者デイサービスセンター
取組名称	地域講座
取組の目的や背景・内容など	
<ul style="list-style-type: none">• 様々な障がい特性、例えば認知機能や嚥下機能、身体機能や特徴などの講習を行うことで、相互理解が進み、障がいのある方も含めた地域全体が住みやすく、また、他職種が連携しながら地域におけるマンパワーを向上させる地域づくりを目指します。	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none">• 医療職を含めた他職種連携が進んでいると実感しています。• 医療制度利用のため、費用がかかると、利用を控えこちらへの相談さえ拒んでいた家族に講座聴講を進めたところ、実際に訪問リハST（言語聴覚士）利用が開始することが決定するなど、チーム支援がひろがりました。	

【参考写真】



【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市伏見障害者授産所
取組名称	アルミ缶の回収リサイクル作業
取組の目的や背景・内容など	
<p>地域における独居老人の方や障がいをお持ちの方など指定日にゴミとして出すことが難しい方などを対象として自宅まで回収に上がりリサイクルへ出す。さらには地域の方のためのアルミ缶の回収場所としての役割を果たしている。</p> <p>回収したアルミ缶は施設の事業として利用者の方に機械を使って潰してもらいリサイクルに出すなど授産の事業としても機能している。</p>	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル活動に寄与している。 ・地域の方のアルミ缶の回収場所として役割を果たしている ・地域において見守りを兼ねてアルミ缶回収に伺うことで困っている方の役に立つことが出来た。 ・授産事業として行うことで利用者の方の活動の幅も広がっている 	

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市伏見障害者授産所
取組名称	小学校からの見学の受け入れ
取組の目的や背景・内容など	
<p>車いす体験と同様に障がい者や高齢者、地域福祉に対する理解を深めてもらうことを目的に、近隣の小学校からセンターとして見学の受け入れを行っている。身体・知的等の障がい者や高齢者の施設を見学し、実際に活動している様子を見ていただくことで、福祉に対する理解を深めてもらっている。</p>	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域において京都市伏見社会福祉総合センターの位置付け・役割を理解してもらうことが出来た。 ・センターでの活動を知り、小学生の障がい者・高齢者などの理解を深めることができた。 	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市伏見障害者授産所
取組名称	社会福祉現場実習生の受け入れ
取組の目的や背景・内容など	
<p>社会福祉の専門職を養成するため年間を通して実習生を受け入れています。障がい者の支援を通して学ぶべき視点を教え、また当事者の方と直接触れ合っていた中で様々なことを感じ取ってもらっています。また地域で生活する障がい者の理解を深めてもらいます。</p>	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> • 社会福祉の人材育成に寄与できた。 • 地域の中で生活する障がい者の方の理解を深めることが出来た。 • 地域における施設の役割を理解してもらうことが出来た。 • 利用者の方が外部の方と触れ合うことが良い経験となって表れた。 	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市伏見障害者授産所
取組名称	小学校における車イス体験の実施
取組の目的や背景・内容など	
<p>近隣の小学校での授業の一環として障がい者に対する理解を深めてもらうために利用者と職員が出向き車イス体験を実施しています。</p> <p>利用者の方が当事者として小学生に直接自らの体験談をお話をしたり、実際に車イスに乗る・押してもらうことで障がいのある方の生活を身近に感じてもらい、困っている人がいれば手助けの出来る子どもを育む取り組みを行っています。</p>	
取組を行って良かった点など	
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達に対して障がい者の理解や困っている人、配慮のいる方への思いやりや気づきにつなげていくための発信が出来た。 地域における施設の役割を認識してもらうことが出来た。 	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市ふしみ学園
取組名称	夏休み子ども向けワークショップの開催
取組の目的や背景・内容など	
施設内でアート活動を展開している「アトリエやっほう！」の企画で「オリジナルTシャツを作ろう」と題し、参加された子どもたちが思い思いに好きな絵をTシャツに描くワークショップを開催。	
取組を行って良かった点など	
8月の2日間で実施したところ、こども25名・おとな13名の合計38名が参加。Tシャツづくりの他、アトリエやっほうの見学やラジオ体操と一緒に参加頂く等、障害がある方との交流もして頂きました。	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市ふしみ学園
取組名称	地域交流スペースひだまりの運営
取組の目的や背景・内容など	
<p>元来より地域交流スペースとして、施設分室の一室を開放しており、自由に休憩をして頂けるフリースペースの他、会合やサークル活動に場所の貸出や、各種教室の開催を行っています。</p> <p>※教室内容…寄せ植え教室、手話教室、ちぎり絵教室、書道教室、新聞ちぎり絵教室など。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>営業日の半分以上は教室開催や会合・サークルへの貸出しがあり、賑わいがあるスペースになってきました。(教室参加者 約 100 名:2019 年 4-9 月) 今後も教室のメニューを豊富にするなど、地域の皆様に喜ばれるスペース作りに励みたいと考えております。</p>	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	グループホームふしみ寮
取組名称	地域のごみ収集場所の提供と清掃
取組の目的や背景・内容など	
<p>グループホームが所在する町内で、ごみ収集場所となっていた場所が、所有者の変更等に伴って使えなくなった。町内で新たに敷地前をごみ収集場所に提供する家がなく困っていると相談があった。</p> <p>グループホーム前の道路を町内のゴミ収集場所として使うことを了承した。</p> <p>ごみ置き場で使うネットを敷地内で保管し、ゴミ収集後にグループホーム職員がごみ収集場所と周辺を清掃するようにしている。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>町内会での困りごとが解決され、町内会長様より感謝されました。</p> <p>どこの家庭にとっても嫌なごみ収集場所を提供するだけでなく、汚れがちなごみ収集場を常にきれいに保つために清掃をしていることで、グループホームが町内にとってプラスになる施設と認識いただけると考えています。</p>	

【応募様式】

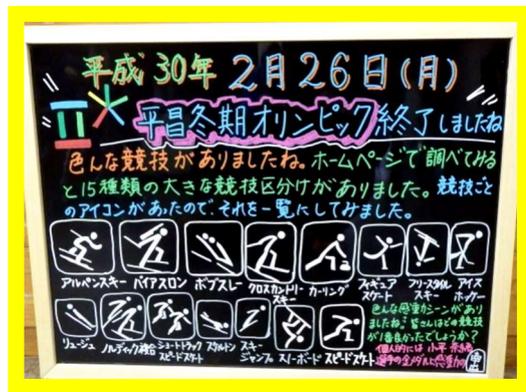
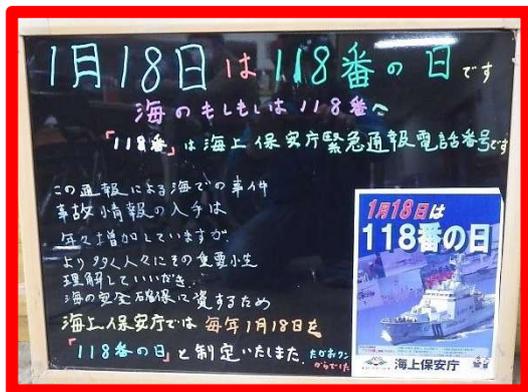
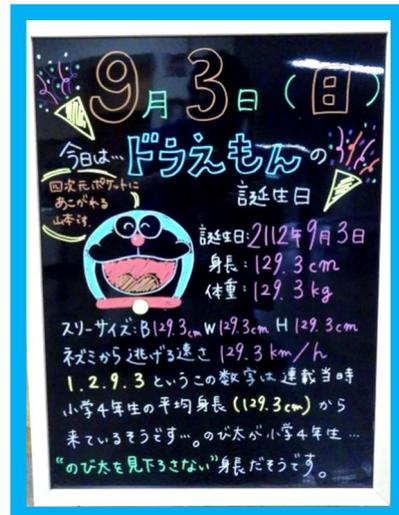
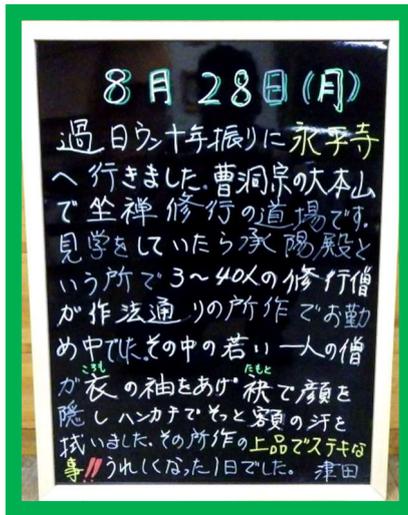
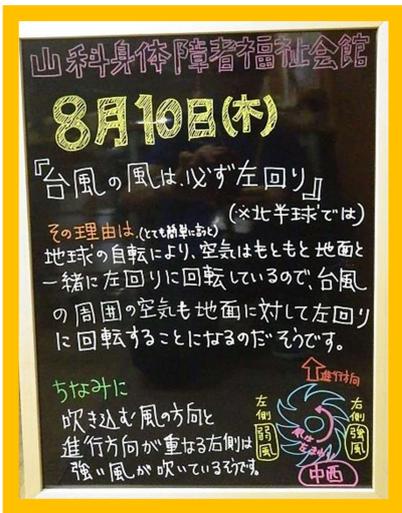
法人名	社会福祉法人京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科身体障害者福祉会館
取組名称	地域の団体を対象にしたスペースの提供
取組の目的や背景・内容など	
<p>「会合を実施する場所がない」等といった地域の皆さんからの声をお聞きすることがあり、地域の方々が下記のような様々な活動を行う際、施設の部屋に空きがある場合には活動の場を提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の自治会の会合・地域の俳句サークルの活動・地域の断酒会などの自助グループの活動・地域の知的障害を持った方々のグループのレクリエーション活動	
取組を行って良かった点など	
<p>年間平均130件程度ご利用いただいております。ご利用いただいた方々に喜んでいただいております。スペースの提供は障がいのある人と地域との交流・出会いにも役立ち、障がいのある人が、安心して暮らしていける地域作りにも役立っています。</p>	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科身体障害者福祉会館
取組名称	地域住民の交流スペースの提供(フリースペース)
取組の目的や背景・内容など	
<p>社会福祉法人 京都市山科区社会福祉協議会が区内で推進する地域の居場所作り事業に賛同し、スペースの提供を行っています。毎月第2・第4火曜日の午前10時から午後1時まで学区の社会福祉協議会、民生児童委員協議会の人たちが中心となって「フリースペースたけはな」を開催。毎回、近隣の方々が30名程度来られ、地域のサロンとして親しまれています。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>運営に携わる学区社協や民生児童委員の方々をはじめ、多くの地域の方々と交流することができ、施設のことを地域の方々に広く知ってもらうことができるとともに、障がいのある人の理解と交流を深める機会になっています。</p>	

【応募様式】

法人名	社会福祉法人京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科身体障害者福祉会館
取組名称	メッセージボードによる情報発信
取組の目的や背景・内容など	
<p>会館の玄関部分にあたるエレベーターホール前にメッセージボードを掲出し、施設利用者と職員が日替わりで様々なメッセージを記入しています。図書館に来られる地域の多くの方々にメッセージボードを通した小さな楽しみを持ってもらうことを目的として取り組んでいます。</p> <p>メッセージボードに、「今日は〇〇の日」、「私が最近思ったこと」、「おすすめのお出かけスポット」など記入者それぞれが自由にメッセージとして書き込み、会館の休館日である火曜日以外の週 6 日間メッセージボードを日替わりで掲出しています。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>エレベーター待ちの図書館利用者が、メッセージボードに目を通されている姿を日常的に見かけることができます。メッセージボードの内容について「うん、そうだね」、「へ～、そうやったんや」と相づちを打ったり、話し合ったりされているのを目にすることもあり、多くの方が気軽にメッセージボードを読み、楽しまれていることを感じます。</p>	



【応募様式】

法人名	社会福祉法人 京都障害者福祉センター
施設・事業所名	京都市山科身体障害者福祉会館
取組名称	地域住民を対象としたイベントの開催
取組の目的や背景・内容など	
<p>毎年、地域の方に当施設を知ってもらい、障害を持つ方への理解を深めていただくことを目的に、様々な取組を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちおこしイベント「ぐるっとふれ愛まちフェスタ」への参画 ・地域との交流イベント「やったね！秋まつり」の開催 ・地域向け公開講座の開催 ・地域向けヘアカット講習会の開催 	
取組を行って良かった点など	
<p>公開講座は、外部講師を招いて、「健康・環境・災害・芸術・地域に特化した内容」など様々な内容で年2～3回開催し、関心の高い講座は30～40名受講されることもあります。</p> <p>また、毎月開催する「ヘアカット講習会」は今年で6年目71回を迎え、自宅で介護の必要な方や赤ちゃん、幼児を散髪するのに困っている家族などが、美容師から散髪の基礎技術を学び、家庭で手軽に散髪できるようになったと喜ばれています。</p> <p>今後も地域の方にも開かれた施設として楽しい取組を考えていきたいと思えます。</p>	

